京都の福祉

Welfare of the Kyoto

531
2013.7 July

●ろう重複障害者の挑戦を通して
地域に開かれた地域交流施設
「たからの里」
●平成24年度京都府社会福祉協議会事業報告
●京丹波町社協PR隊長★ここたん
●夢中! 熱中! ふくしびと

石窯の前で

もえくさ

「ＤＪポリス」をご存じでしょうか。サッカー日本代表がワールドカップ出場を決めた６月４日のオーストラリア戦終了後の東京・渋谷で若者たちの警備誘導にあたった警視庁・第９機動隊広報係の隊員を称賛して命名されたものである▼興奮冷めやらず高揚する若者たちに「私たちも気持ちは同じです。皆さんと同じチームメイトです」と呼びかけている。朝日新聞の天声人語では『集う人々を警備の対象としてだけ見るのではない。喜びと高揚をともに感じている同じ人間として協力を求める。理より情への訴えが、共鳴を呼び起こしたとも思える』と表現している▼私たち福祉の世界でも同じことが言えるのではないかと感じる。社会的弱者とか生活困窮者など、私たちが向き合う人々に様々な表現が用いられるが、その人たちを一方的に支援の対象としてだけ見るのではなく、ともに同じ時代を生き、暮らしている仲間として認め合うことから関係が始まるのだろう▼そんな当たり前のことを今更…と思うなかれ。知らず知らずのうちに上から目線になっていませんか？（ＮＫ）

地域に開かれた地域交流施設「たからの里」

～ろう重複障害者の挑戦を通して～

聴覚障害者への理解や聴覚障害者が働く施設と地域との関わり方にはさまざまな方法があります。そのような中、さまざまな工夫を凝らし、住民参加型のイベントの開催などに積極的に取り組んでいる施設があります。今回は、綾部市中上林地区の「いこいの村聴覚言語障害センターたからの里(以下、たからの里)」を訪れ、施設と地域との関わり、そして施設で働く、ろう重複障害を持つ人々の挑戦を取材しました。綾部市上林地区は口上林、中上林、奥上林の3つの地区から構成され、綾部市の面積の約3分の2近くを占めています。

ろう重複障害者の生活介護・施設入所支援を行う全国で初めての施設

京都市内から車で約2時間。聴覚障害と他の障害を有する「ろう重複障害者」を対象とした全国初の生活介護・施設入所支援を行う施設「いこいの村聴覚言語障害センター（生活介護・施設入所支援）」は1982年に創設。美しい里山風景が広がる綾部市口上林地区にあります。

このセンターはケアホームやデイサービスセンター、特別養護老人ホームなども併設する府北部の福祉拠点としての役割を果たしています。昨年4月、それらの1部門として地域交流施設「たからの里」が元保育園の建物を活用し、中上林地区にオープンしました。

手話をツールに地域の人々との交流

たからの里では、石窯で焼いたパンの販売のほか、自家製野菜などを使った石窯ピザのランチなどを多くの方々に提供しています。ここでは、同センターの「栗の木寮」で農作物などを育てている『仲間』が、パンの袋詰めや接客を担当。また、近隣の農産物直売所への石窯パンの配達も彼らの大切な仕事になっています。ちなみに、国産小麦を100%使用した石窯パンは大好評で、即日売り切れることもあるとか。

ピザ・パン作り体験、農業体験、企業や学校などの施設見学も、随時受け付けています。今年6月には、生活協同組合の食育活動に取り組む親子20人を受け入れ、栗の木寮の農業班が丹精込めて作った玉ねぎの収穫を仲間が手話を使って指導。続いて、自慢の石窯ではケアハウス「コスモス寮」から通っている2人の仲間が美味しそうなピザを焼き上げ、交流を深めました。

子どもたちにピザ体験指導と歓迎の手話ダンスを披露した仲間のひとり、小畑一さんは「子どもたちに〝おはよう〟〝たまねぎ〟〝ありがとう〟の手話を教えたら、すぐに覚えてくれて嬉しかった」と手話を使って当日の様子を語ってくださいました。また、小畑さんは栗の木寮から路線バスに乗って、たからの里に通勤しているといい、「生活にメリハリがついた」と力強く話されました。こうした交流の機会が、聴覚障害者の方々への理解だけでなく、施設を利用する彼らの暮らしに大きな影響を与えていることがわかります。

石窯ピザ

たからの里正面玄関

小畑さんに話を聞きました

〝仕事意識〟の変化に期待すること

たからの里がオープンして1年が経ち、地域在住の芸術家が個展を開催したり、ボランティア団体が行事を開いたりと地域に少しずつ溶け込んでいっているようです。今後も気軽に地域の方々にたからの里を利用していただきたいとのことでした。これらの小さな活動の積み重ねが、施設が地域の方々と共生することなのかもしれません。

また、地域との〝コラボレーション〟も活発化しています。奥上林地区にある「あやべ温泉」では今年4月、綾部名物の上林地鶏を使ったオリジナルご当地バーガーの販売を開始しました。このハンバーガーのバンズに、たからの里の特注石窯パンが使われているのです。ハンバーガーを食べた人の間でその美味しさが口コミで広がり、近くにある温泉に入った後、パンを購入するためにたからの里に立ち寄る人もあるといいます。

それらがきっかけとなり、たからの里で働く仲間の意識にさまざまな変化を及ぼしました。同センター職員で栗の木寮部長の木村公之さんは、「人とのふれあいや接客する機会が増え、男性も女性もまず身だしなみに気をつけるようになりました」と振り返ります。さらに、店舗としての売上目標を設定し、シビアに数字を追いかけることで、〝仕事〟に対する意識の変化が見られるようになったとか。「現在はまだ、彼らはパンの製造そのものには関わっていませんが、いずれ生地を担当するといったシステムにするつもりです。それで彼らの給料がアップすればやりがいになるし、他の仲間の励みにつながるのでは」と木村さん。

木村部長の説明

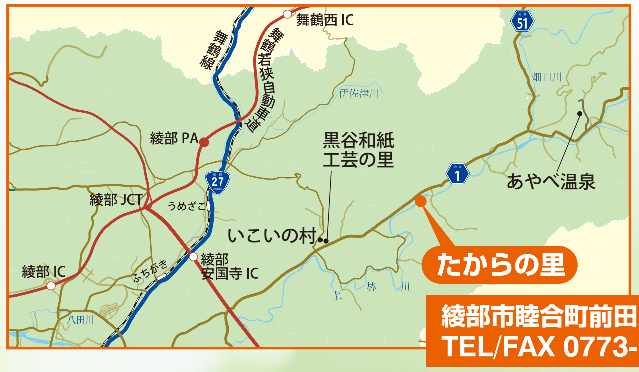
今後はたからの里の空き部屋にキッズスペースを設け、より多くの方々に利用いただけるように地域に開放する計画もあるそうで、無限に広がる可能性に期待が高まります。

地域のサポート体制強化をリード

一方で、深刻な問題に直面しているのも事実です。30年前の開所以来、栗の木寮が農閑期に取り組んできた名物の「しめなわづくり」は、仲間の〝高齢化〟を理由に昨年度で終了してしまいました。本来は生活および労働をする場であって、「終の棲家」ではないとはいえ、現実的には、高齢者の仲間がこうした障害者施設から地域での暮らしに移行することは容易ではありません。同センターでも、入所者の高齢化問題の解決に向けてどうアプローチするかが課題になっているのです。

その中で、ケアホームからアパート暮らしに移った仲間、そこからいこいの村に通う仲間も出てきたといいます。その裏には、木村さんたち職員の継続的なサポートがありました。「彼らのように自分の人生を選択できる社会にならなければいけないと思っています。そのためには、もっと地域の受け皿が整備されないと。そうした取り組みを、私は多くの方々と一緒に頑張らせていただきたいと考えているんです」と、木村さんは力強く話します。

地域に根ざし、地域に開かれた施設を拠点に、先進的な事業展開に挑戦していく同センター。次なるステップに注目が集まります。



綾部市睦合町前田22-1
TEL/FAX 0773-21-4166

平成24年度 京都府社会福祉協議会事業報告

京都府社会福祉協議会では、平成24年度からの３年間に取り組む「第３次中期計画」に基づき、平成24年度はその初年度として事業を推進しました。この計画に掲げた５つのアクションプランのテーマに沿って実施した重点事業を中心に、その概要と特徴をご報告します。

5つのアクションプランに基づく重点事業

テーマ① 孤立を見逃さない地域づくり

テーマ⑤ 自立した生活を支援する絆ネットの推進

孤立しがちな人との〈つながり〉活動を広げ、小地域福祉活動やサロン、地域の幅広い関係者等による「絆ネット」を市町村社協と協働して推進しました。

●「高齢者見守り活動強化事業」として、25市町村で社協、NPO等398団体が539事業を実施。

●「きょうと地域福祉活動実践交流会IN綾部」を市町村社協連合会、綾部市社協、北部8社協と共催実施（4分科会、参加者600人）。

●「絆ネット」を推進するため、府内各地の見守り事例等を収集し、冊子『地域の力』を発行、また住民と協働するワーカー研修を実施。

●在宅高齢者等の電力弱者支援事業の実施について調整及び活動集約（実施主体は市町村社協連合会、25市町村で社協・民協の連携で実施）。

●地域福祉活動計画の見直し策定（5箇所）に助言、情報提供。策定率は76％。

●コミュニティワーク実践研究会（ケースメソッド編・社会調査編）を開催、実践力を強化。

●京都府南部豪雨災害に際して、宇治市災害ボランティアセンターへの支援・調整（市町村社協職員延べ111人、府社協職員延べ78人、応援ボランティア各地から3200人超）。

府内各地の見守り事例を漫画で紹介

テーマ② 生活困窮者等の自己実現と自立支援

生活福祉資金貸付制度を中心に、生活困窮者の経済的生活支援及び就労への橋渡しを柱とした事業を展開しました。

●生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金の貸付総件数は、2583件（前年度3203件）と前年度より減少。

●総合支援資金の貸付が減少し、福祉、教育支援資金が増加。

●償還促進方針、貸付制度運用方針を新たに策定し、社協・民協と連携推進した結果、福祉資金・教育支援資金の現年度償還率は、前年度の63・8％から66・1％に上昇。

●生活困窮者等への自立支援を目指すネットワークづくりを推進。

テーマ③ 府民の生活を支える権利擁護

情報が届きにくい人への的確な情報提供、生活を総合的に支える取り組み、福祉サービス利用者からの苦情対応、サービス提供事業者への啓発等を推進しました。

❖福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）

●新規利用者数は160名、延べ利用者数は1094名で、前年度比14％増。

●利用契約者の9割を生活保護世帯、住民税非課税世帯が占めており、利用者の増加に伴って、相談・連絡調整業務が大きく増大。

❖運営適正化委員会事業・苦情件数は113件（前年度比84％）、問合せ件数は79件（前年度比58％）

●相対的に障害福祉サービスにかかる苦情が多く、苦情内容では「職員の接遇」「サービスの質や量」に関するものが多い。

●福祉サービス利用援助事業の適正実施を監視・助言するため、14市区町村社協の実地調査を実施。

❖介護・福祉サービス第三者評価等支援機構（事務局受託）

●受診件数は、介護サービス分野170件（前年度比12・6％増）、福祉サービス分野46件（前年度比増減なし）の合計216件（前年比9・6％増）。

●ホームページのリニューアルを行い、新たに受診事業所の「エリアマップ」を作成。ホームページのアクセス件数は30385件。

テーマ④ 福祉人材の確保・定着・育成

福祉・介護現場の人材確保について、国の緊急雇用対策、府の人材確保プランに基づき、従来事業の充実とともに、新規事業を旺盛に展開しました。

●福祉人材無料職業紹介事業では、求人登録数6811人、求職登録者数2333人、あっせん数641人、成立225人。

●福祉職場就職フェアでは、計8回の開催で、275人の方が内定。

●府内各大学等で、福祉職場の魅力等を説明するガイダンスを年17回実施し、延551人が参加。

●福祉人材の資質向上とサービスの質の確保を目指し、社会福祉研修を32コース、延134日開催し、4041人が受講。

就職フェアの様子

その他の主な事業

❖災害時に向けた広域的なネットワークの推進

●平成24年8月の京都府南部豪雨災害に際して、宇治市災害ボランティアセンターに資器材整備、スタッフ派遣等の後方支援を実施。

●新たな研修テキスト・プログラムの作成。

●京都府災害時要配慮者避難支援センターへの参画。（平成25年3月設立／事務局を担当）

❖企業・経済界との連携

●京都CSR推進協議会への参画と企業とNPOの協働フェスタへの出展等。

❖福祉課題の調査・研究・提言

●「福祉・介護事業所の経営実態と労働環境調査」や「高齢者等への見守りや支援活動に関する調査」の実施。

第三次中期計画（2012～2014）の体系

基本理念

京都府社協は、すべての人が尊厳のある生活を送ることができるよう“安心と希望の持てる支え合いの京都”の実現をめざします。

3つの使命（キーワード）

1.尊厳　**2.**連帯・支え合い　**3.**協働

6つの役割

1.市町村社協への支援
2.社会福祉施設・事業所への支援
3.利用者・府民の権利擁護
4.福祉人材の確保・定着・資質向上とサービスの質の確保
5.ネットワークの構築・協働
6.福祉課題の調査・研究・提言

5つのアクションプラン（テーマ）

1.孤立を見逃さない地域づくり
2.生活困窮者等の自己実現と自立支援
3.府民の生活を支える権利擁護
4.福祉人材の確保・定着・育成
5.自立した生活を支える「絆ネット」の推進（地域包括ケア・生活支援サービスの充実）

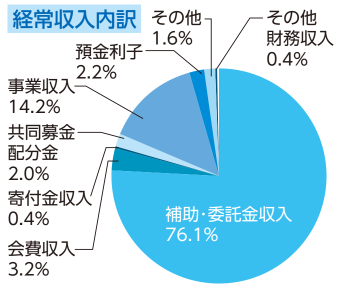
2つの基盤強化

1.組織基盤の強化
2.財政基盤の強化

平成24年度決算の概況（一般会計）

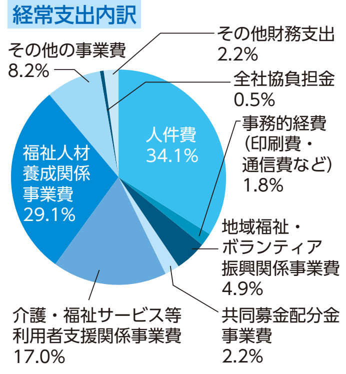
経常収入	決算額	構成比
補助・委託金収入	355,482,693	76.1%
会費収入	14,821,400	3.2%
寄付金収入	1,712,380	0.4%
共同募金配分金	9,233,320	2.0%
事業収入	66,250,458	14.2%
預金利子	10,102,628	2.2%
その他	7,564,246	1.6%
その他財務収入	2,042,014	0.4%
総計	467,209,139	

経常収入内訳



経常支出	決算額	構成比
人件費	156,727,991	34.1%
事務的経費（印刷費・通信費など）	8,358,604	1.8%
地域福祉・ボランティア振興関係事業費	22,500,000	4.9%
共同募金配分金事業費	10,165,506	2.2%
介護・福祉サービス等利用者支援関係事業費	77,933,290	17.0%
福祉人材養成関係事業費	133,835,403	29.1%
その他の事業費	37,739,747	8.2%
全社協負担金	2,352,000	0.5%
その他財務支出	10,074,024	2.2%
総計	459,686,565	

経常支出内訳



※民間社会福祉施設整備資金貸付事業にかかる収支等を除く実質的な収支

京丹波町社協 PR隊長 誕生

ここたん

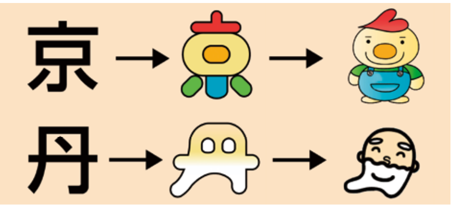
プロフィール

誕生：2012.11.23
性別：男の子
好きな食べ物：黒豆の枝豆
性格：素直で思いやりがある。顔に似合わず力もち。おじいちゃん、おばあちゃんが大好き。
仙人（せんにん）：京丹波町の自然や文化、歴史など何でも知っている。困った時はやさしくアドバイスをしてくれる。

キャラクター誕生まで

社協の活動を、子どもから高齢者まで世代を問わず、もっと身近に感じてもらいたいとの思いからキャラクター制作がスタートしました。「ふれあい」「つながり」「やさしさ」「京丹波」などのキーワードが含まれることを条件にキャラクターの原案を職員から募集し、住民に末永く愛される風貌や表情になるよう何度も協議し、完成しました。

誕生までの記録



愛称は、心の"ここ"と京丹波の"たん"で「ここたん」

平成24年11月23日、第１回福祉まつりの会場にてキャラクター発表を行い、CATVやホームページなどで愛称を募集したところ、町内をはじめ、北は岩手・秋田県から、南は長崎・熊本県まで各地から258通（146名）の応募がありました。選考委員会では、応募者の住所・氏名・年齢は隠して、公平に選考し、誰からも覚えてもらいやすく、福祉と京丹波に関連のある愛称「ここたん」に決定しました。

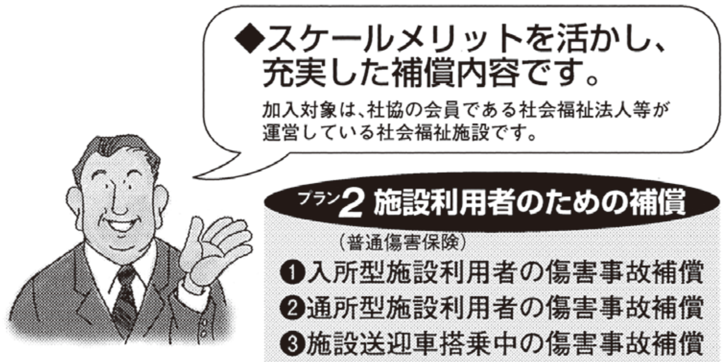
今後の展開

現在、町内在住の幼児から小学生を対象に、ここたんのイラストを募集しています。どんなここたんが集まるのか楽しみです。

社会福祉施設総合損害補償 しせつの損害補償
インターネットで保険料試算できます ふくしの保険 検索

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために！

プラン1 施設業務のための補償
（賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険）
❶基本補償
○基本補償（A型）は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
○見舞費用付補償（B型）は、賠償責任のない場合の見舞金が充実
●オプション１ 訪問・相談等サービス補償
●オプション２ 施設の医療事故補償
❷個人情報漏えい対応補償
○個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合（おそれのある場合を含みます）に補償
❸施設の什器・備品損害補償
○施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
○施設の現金等も補償



プラン2 施設利用者のための補償
（普通傷害保険）
❶入所型施設利用者の傷害事故補償
❷通所型施設利用者の傷害事故補償
❸施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償
（労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険）
❶施設の労災上乗せ補償
❷施設職員の傷害事故補償
❸施設職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約（「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」）です。
●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 〈引受幹事保険会社〉 株式会社 損害保険ジャパン
取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F TEL：03（3581）4667 FAX：03（3581）4763
（SJ12-11537 2013.2.4 作成）

夢中！熱中！ だから続けたい この仕事 ふくしびと

福祉の現場で働く人たちの熱い想い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で"熱い福祉"を"夢中"で実践している方々にスポットをあてて、元気や楽しさ、やりがいを"生"の声でお届けします。

子どもたちからパワーをもらっています

一人ひとりを大切に

子どもたちと一緒に

「子どもが好き」という理由で選んだ保育士の仕事…この園に勤めて早15年が経ちました。

無我夢中で一日一日を過ごした日々、試行錯誤を繰り返した日々、自分の保育観が確立し実践した日々…と、振り返れば様々な経験をさせて頂きました。

主任という立場になってからは、園外に出る機会も多くなり、他園の先生方との関わりや様々な活動を通して、保育士の役割の幅広さを改めて知ることができました。また、自分よりもはるかに経験豊かな先生方とご一緒させて頂くことも多く、程よい緊張感を抱きながら、保育士としてだけではなく、社会人として、また人として大切なことを教えて頂いています。自分の勤める園内から一歩外に出ることは、様々な気づき・学びにつながります。与えられた役割を一生懸命務めながら、より多くのことを吸収し、自分自身を高めていきたいと思っています。

毎日の子どもたちとの関わりは、喜怒哀楽が豊かで、本当に楽しいものです。日々の子どもたちの成長・変化にやりがいを感じながらも、一方で、思い悩み、戸惑い、難しさを感じることも多々あります。様々な思いを重ねながらも、それ以上に子どもたちから返してもらえる物が大きいからこそ、それがまたパワーとなり、がんばることができます。

かわいい子どもたちと一緒に過ごせる日々に感謝しながら、「一人ひとりを大切に」をモットーに、これからもより良い保育を目指して励んでいきたいと思います。

花壇で子どもたちと

澤中 明子さん

●さわなかあきこ
施設名：社会福祉法人イエス団 野の百合保育園
事業所住所：京都市伏見区向島二ノ丸町151
TEL.075-622-8545
職種：主任保育士
経験年数：15年
▶好きな言葉：道は自分でつくる 道は自分でひらく 人のつくったものは自分の道にはならない
▶好きなこと：ガーデニング

Information
京都府社会福祉協議会からのお知らせ

相談 何でも経営相談

～気になること、困ったこと、お気軽にお電話ください～

京都府経営者協議会では、福祉施設の運営や経営面をサポートするため、経営指導事業を実施しています。

- 社会福祉法人の新会計基準への移行はどう進めたらよいか…
- 職員の休暇や休職・復帰の扱いで悩んでいる
- 法改正に伴う事項、就業規則をどう見なおせば？
- 利用者(家族)とのトラブル
- 賃金体系を見直したい　など

その他何でもお気軽に下記までご相談ください。専門相談員、公認会計士や社会保険労務士を派遣します。

曜日　毎週月曜日～金曜日（祝日及び年末・年始除く）

時間　10:00 ～ 16:00

TEL・FAX　075-252-6301

案内 ケアマネジャー受験対策直前セミナー開催のご案内

受験対策のカリスマ！伊東利洋先生の「ＩＴＯ方式」を学ぶ！

～必修ポイントを確実に整理し、合格へ向けラストスパート～

受験期には全国を飛び回る**「試験対策のスペシャリスト」**が合格点到達のためのテクニックを伝授します。

<一日目>

日程　9月27日(金)　10:00 ～ 16:30

会場　キャンパスプラザ京都

<二日目>

日程　10月5日(土)　10:00 ～ 16:30

会場　ルビノ京都堀川

- **受講料**　一日あたり、7,000円
- **テキスト**　「ケアマネジャー試験確実合格指南書13年改訂版」
- **指導講師　伊東 利洋氏**　(有)いとう総研　取締役

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

京都府福祉人材・研修センター研修課

TEL.075-252-6296

本会ホームページ**「講座・研修・イベント情報」**をご覧ください。

研修 2013年度 福祉のプロにおくる職場の難問解決セミナー

- **日時**　10月23日(水)　10:20 ～ 16:00
- **会場**　ハートピア京都 ３階 大会議室
- **講師**　**久田則夫先生**　日本女子大学教授

※詳しくは、下記までお問い合わせください。

京都府福祉人材・研修センター研修課

TEL.075-252-6296

本会ホームページ**「講座・研修・イベント情報」**をご覧ください。

安心して暮らせる地域づくりのパートナー

京都府社協では賛助会員を募集しています！

京都府社会福祉協議会は社会福祉法に基づき設立された社会福祉法人です。京都府の地域福祉を推進する民間団体として、「福祉で地域づくり」を合言葉に、住み慣れた地域でだれもが安心して生活できる、そんなまちづくりをめざしています。ぜひ、「賛助会員」として、本会の活動をご支援ください。

重点事業　**～市町村社協、民生児童委員、社会福祉施設等と連携・協働して推進しています～**

- 声かけ・訪問活動や居場所づくりの推進事業、見守り活動団体のネットワークづくり
- 低所得者、障害者や高齢者の世帯を対象とした生活福祉資金貸付事業
- 判断能力に不安のある方のお手伝いをする福祉サービス利用援助事業
- 施設等の福祉サービスに従事する人材の確保・定着・育成　など

＜賛助会員の特典＞

- 京都府社会福祉協議会発行の機関紙「京都の福祉」（年８回発行）をお送りします。府内の福祉の最新情報がお手元に届きます。
- 全社協出版部発行の福祉図書が割引価格で購入できます。
- 社会福祉大会など本会主催の講演会等のご案内を差し上げます。

会費額(年額)

- 賛助会員　個人 １口5,000円、法人 １口10,000円　で希望口数

お問合せ・お申込先

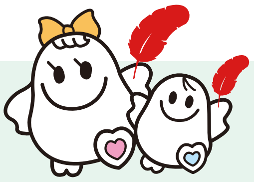
京都府社会福祉協議会　総務部総務課

TEL.075-252-6291 ／ FAX075-252-6310

HPアドレス

http://www.kyoshakyo.or.jp/introduction/introduction4/post-2.html

- 「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せください。表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)
- 本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。
  http://www.kyoshakyo.or.jp　京都府社協　検索



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。

発行所／京都府社会福祉協議会　発行人／宮本 隆司　〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375　TEL.075-252-6291　FAX.075-252-6310
印　刷／株式会社きかんしコム